

「鏡視下」

外科手術について



公立刈田総合病院 外科  
大橋 洋一

病院で手術が必要と言われたら、病気が治るかどうかが、手術に耐えられるか、傷は痛くないだろうか、傷は大きいだろつかなど、次々と心配事が出てくると思います。外科手術では、ここ数十年、皮膚を大きく切開し、胸やお腹を開けて臓器を取り出したり修復したりして治療してきました。

このようにして蓄積されてきた病気の知識と、医療技術の進歩によって、最近では病気の種類によっては、手術が必要な場合でも身体に対する負担を少なくできるようになってきました。その手術方法の一つに鏡視下手術があります。

切開を置き、内視鏡という先端にカメラがついた細い管を体内に挿入し、それにつないだテレビモニターを見ながら、細い鉗子という棒を挿入して臓器をはさんだり、切ったりします。この手術の良い点は、傷が小さい・傷の痛みが少ない・術後の回復が早い・その結果、入院期間が短くなるなどが挙げられます。

対象疾患は、病気の程度によりますが、食道腫瘍、胃腫瘍、大腸腫瘍、胆のう疾患、腎腫瘍、副腎腫瘍などです。公立刈田総合病院でもこれらの疾患に対して専門の医師が積極的に対応しております。どうぞご相談ください。

全冒集合

むし歯の

ない子

今回の3歳6か月児健診で虫歯のなかったお子さんです。ずっと健康な歯でいてね!

- 菅原 尚哉くん (鷹巣)
- 佐藤 亜海ちゃん (寿山)
- 高橋 海輝くん (鷹巣)
- 松野 綾香ちゃん (大平森合)
- 菅野 蒼音ちゃん (東町)
- 石垣 萌香ちゃん (鷹巣)

虫歯を早く治してメダルをもらおう!

虫歯ができてしまったら治療しなければ治りません。特に、子どもの虫歯は進行が早いので、早めに治療することが大切です。そこで、平成10年4月から「むし歯のない子」の対象児に治療を終了したお子さんも含まれることになりました。ぜひ、虫歯があるお子さんも3歳6か月児健診までに、虫歯を治してメダルをもらいましょう。

健康推進課 ☎22-1362



ヘルシークッキング

生活習慣病予防のための



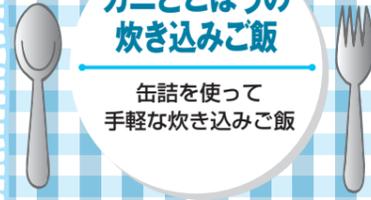
エネルギー484kcal / たんぱく質14.1g / 塩2.7g

材料(4人分)

|        |      |
|--------|------|
| 米      | 3合   |
| カニ(缶)  | 1缶   |
| ごぼう    | 100g |
| にんじん   | 40g  |
| みつば    | 少々   |
| だし汁    | 1カップ |
| しょうゆ   | 大さじ2 |
| 薄口しょうゆ | 大さじ1 |
| 砂糖     | 小さじ1 |

カニとごぼうの炊き込みご飯

缶詰を使って手軽な炊き込みご飯



ヘルスメイト白石  
佐久間文子さん(大鷹沢)

作り方

- 米を洗っておく。ごぼうはさががきにして水にさらす。にんじんもさががきにする。みつばは刻んでおく。
- 鍋にだし汁とごぼうを入れて、弱火で6分〜7分煮る。にんじん、しょうゆ、薄口しょうゆ、砂糖を加えて4分〜5分煮てカニを入れ、ザルに上げて汁と具を分ける。
- 米を炊飯器に入れて②の煮汁と分量の水を加えて普通の炊き込みご飯に炊く。
- ご飯が炊きあがったら②の具を入れて混ぜ合わせる。器に盛り、みつばを添える。

健康推進課 ☎22-1362

くらしのヒント



「平成15年度の消費生活相談状況」

最近の消費生活問題は、多様化・高度化の傾向にあります。商品の安定供給、品質、表示、悪質な契約と、挙げきれないくらい問題がまん延しています。市民の皆さんも消費者問題にもっと関心を持ち、悪質な業者に負けないよう頑張ってください!

白石市の苦情相談件数は、平成13年度が80件で、平成14年度が198件、そして今年度は12月末の時点で250件と右肩上がりの状況です。悪質業者が増えたのか、あるいは市民の方々が泣き寝入りをしなくなったのかどちらかだと思えますが、今年も民生委員やヘルパーの方、そしてボランティアの方たちの協力のおかげで未然に防ぐことができました。これからも悪質業者を排除し、住み良い白石にするための啓発活動もついに努めていきます。

今年度(平成15年度)寄せられた苦情相談

- 第一位「架空請求」身に覚えのないサイト料、金融機関などの債務保護
- 第二位「自己破産」多重債務など

「おれおれ」「わたしわたし」電話は、必ず家族に確認を! 「最終通告書」「最終督促」「緊急連絡」などの文書は無視する! 不安な場合は、消費生活相談室や警察に相談を!

・第三位「ヤミ金融」090金融など

・第四位「電話勧誘」ネックレス、指輪、絵画、着物、パソコン、家庭教師、資格講座、資格講座

・第五位「訪問販売」給水管のさび防止、下水洗浄、消火器、布団、かつら、化粧品、健康食品、印鑑、床下工事、屋根瓦、浄水器など

・第六位「SF(催眠)商法」布団、健康食品、マッサージ器、浄水器など

このように多種多様な被害が発生しています。被害は老若男女関係なく、15歳から86歳の方まで相談がございました。最近では、海外宝くじや先物取引などの相談も増えていきます。契約は即決せず、家族と相談してからにしましょう。

思いやりのある良質で信頼される医療を目指して

公立刈田総合病院紹介



公立刈田総合病院 ☎25-2145

救急部の充実と診療内容のご案内

当院は、地域の基幹病院として、平成14年12月1日から救急部を設置して救急・急患診療の充実を図っているところですが、このたび本年1月1日付けで日本救急医学会より救急科専門医指定施設の認定(県内で5番目)を受けることができました。さらに2月1日付けで救急系診療部長として前山俊秀医師を迎えたことで「救急・急患」についてより一層の充実した対応が可能となります。

具体的には、2月から平日時間内(8:30~17:15)の救急診療を前山医師が担当します。さらに4月1日より平日時間外体制を通常の当直医師に加え、副当直医師(17時~22時の5時間)をおくことで、救急・急患診療

の提供を可能にしております(土・日・祝日は従来どおり当直医2名体制)

また、近い将来には救急・急患診療チームを結成し、地域住民の方々へさらなる救急医療実現を目指します。

時間外診療はあくまでも緊急性のある疾患のみの対応になりますので、皆様のご理解をお願いいたします。

左から長谷川麻酔科部長、安田外科部長、佐藤看護部長、前山救急系診療部長、佐藤主任、堀口循環器科部長

